

## 代数学 I (2018 年度後期) 演習問題 1 (解答例)

注意 以下はあくまでひとつの解答例である．誤植も含め，解答に誤りが存在するかもしれないので，鵜呑みにせず各自で検証すること．

問題 1. 隣り合う 2 つの頂点の像を調べればよい．鏡映と鏡映の合成は回転，鏡映と回転の合成は鏡映であることを認めれば，1 つの頂点の像を調べれば十分である． $ab$  の乗積表は以下の通り．

$a \setminus b$	$\sigma_1$	$\sigma_2$	$\sigma_3$	$\sigma_4$	$\sigma_5$	$\sigma_6$	$\theta$
$\sigma_1$	$e$	$\theta^4$	$\theta^2$	$\theta$	$\theta^5$	$\theta^3$	$\sigma_4$
$\sigma_2$	$\theta^2$	$e$	$\theta^4$	$\theta^3$	$\theta$	$\theta^5$	$\sigma_5$
$\sigma_3$	$\theta^4$	$\theta^2$	$e$	$\theta^5$	$\theta^3$	$\theta$	$\sigma_6$
$\sigma_4$	$\theta^5$	$\theta^3$	$\theta$	$e$	$\theta^4$	$\theta^2$	$\sigma_3$
$\sigma_5$	$\theta$	$\theta^5$	$\theta^3$	$\theta^2$	$e$	$\theta^4$	$\sigma_1$
$\sigma_6$	$\theta^3$	$\theta$	$\theta^5$	$\theta^4$	$\theta^2$	$e$	$\sigma_2$
$\theta$	$\sigma_5$	$\sigma_6$	$\sigma_4$	$\sigma_1$	$\sigma_2$	$\sigma_3$	$\theta^2$

問題 2. まず，単位元の一意性を示そう．条件を満たす元を  $e, e'$  とする．定義より，任意の  $a \in G$  に対し

$$ae = ea = a, \quad ae' = e'a = a$$

が成り立つ．第一式において  $a = e'$  とおき，第二式において  $a = e$  とおくと，

$$e'e = ee' = e', \quad ee' = e'e = e$$

であるから， $e' = e$  である．次に，逆元の一意性を示そう．任意の  $a \in G$  に対し，条件を満たす元を  $b, b' \in G$  とする．定義より，

$$ab = ba = e, \quad ab' = b'a = e$$

が成り立つ．第一式の左から  $b'$  を掛けると，

$$(\text{左辺}) = b'(ab) = (b'a)b = eb = b, \quad (\text{右辺}) = b'e = b'$$

より， $b' = b$  である．

問題 3. 定義より, (1) 演算で閉じていること, (2) 結合律が成り立つこと, (3) 単位元と逆元が存在することを示せばよい.

1. 演算で閉じていることは乗積表より明らか. 演算は写像の合成で定義されているから, 結合律が成り立つ<sup>1</sup>. 単位元は恒等変換  $e \in D_6$  であり,  $\theta, \sigma_i \in D_6$  の逆元はそれぞれ  $\theta^{-1} (= \theta^5), \sigma_i \in D_6$  である.
2. 行列の積の定義により, 演算で閉じていることと結合律が成り立つことは明らか<sup>2</sup>. 単位元は単位行列  $I_n \in GL(n, \mathbb{R})$ ,  $A \in GL(n, \mathbb{R})$  の逆元は逆行列  $A^{-1} \in GL(n, \mathbb{R})$  である.

問題 4.

1.  $0 \in \mathbb{R}$  の逆元が存在しない.
2.  $\det A = 0$  なる正方行列  $A$  には, 逆元が存在しない.

問題 5. いずれも空集合でないことは明らかである.

1. 任意の  $a, b \in m\mathbb{Z}$  に対し,  $a = mx, b = my$  なる  $x, y \in \mathbb{Z}$  が存在する.  $a + b = m(x + y)$  で  $x + y \in \mathbb{Z}$  だから,  $a + b \in m\mathbb{Z}$  である. 任意の  $a \in m\mathbb{Z}$  に対し,  $a = mx$  なる  $x \in \mathbb{Z}$  が存在する. このとき, 逆元は  $-a = m(-x)$  であり,  $-x \in \mathbb{Z}$  だから,  $-a \in m\mathbb{Z}$  である.
2. 任意の  $h_1, h_2 \in SL(n, \mathbb{R})$  に対し,  $\det(h_1 h_2) = (\det h_1)(\det h_2) = 1$  より,  $h_1 h_2 \in SL(n, \mathbb{R})$  である. 任意の  $h \in SL(n, \mathbb{R})$  に対し,  $\det(h^{-1}) = (\det h)^{-1} = 1$  より,  $h^{-1} \in SL(n, \mathbb{R})$  である.

問題 6. 以下の通り.

$\{e, \theta, \theta^2, \theta^3, \theta^4, \theta^5\}$	位数は 6	$\{e, \theta^2, \theta^4\}$	位数は 3
$\{e, \theta^3\}$	位数は 2	$\{e, \sigma_i\} (i = 1, 2, 3, 4, 5, 6)$	位数は 2
$\{e, \theta^2, \theta^4, \sigma_1, \sigma_2, \sigma_3\}$	位数は 6	$\{e, \theta^2, \theta^4, \sigma_4, \sigma_5, \sigma_6\}$	位数は 6
$\{e, \theta^3, \sigma_1, \sigma_6\}$	位数は 4	$\{e, \theta^3, \sigma_2, \sigma_4\}$	位数は 4
$\{e, \theta^3, \sigma_3, \sigma_5\}$	位数は 4		

<sup>1</sup> 「集合と位相」の演習問題

<sup>2</sup> 線形代数の演習問題